

○平成18年度 公共事業の再評価結果 一覧表 (1 / 2)

事業名		箇所名		事業概要				公共事業評価監視委員会での審議状況及び意見	再評価の結果 対応方針 理由
種別	補助事業名	河川・道路名等	事業区間	事業採択年度	全体事業費 (百万円)	総投資額 (平成17年度まで) (百万円)	事業概要 〔進捗状況等〕		
街路	JR奈良駅付近連続立体交差事業	JR関西線・桜井線 (奈良市)	奈良市法蓮町 ～大安寺7丁目 奈良市三条本町 ～西木辻町	平成9年度	44,830	20,378	進捗率 45% 事業延長 L=3.5km 関西線L=2.2km 桜井線L=1.3km	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) ・奈良の玄関口として、景観に十分配慮しながら県市一体となって進められたい。	対応方針： 継続 理由： 当事業は用地買収もほぼ完了しており、また平城遷都1300年に向け奈良の玄関口として早期に整備する必要性があると判断する。
	街路改良	中和幹線 〔桜井東〕 (桜井市)	桜井市大字金屋 ～大字三輪松之本	平成9年度	15,294	11,647	進捗率 71% 事業延長 L=1,480m	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) ・景観に配慮するとともに道路新設による土地利用を促進し、平成22年度の完成を目指して進められたい。	対応方針： 継続 理由： 本路線は、国道24号、国道165号の渋滞緩和、交通事故の減少、走行時間の短縮、定時制の確保により中和地域の発展に寄与する道路として早期整備が必要であると判断する。
道路	道路改良	一) <sup>どうのみね</sup> 多武峯 <sup>みせ</sup> 見瀬線	桜井市多武峰 ～明日香村上	平成4年度	5,220	4,624	進捗率 89% 事業延長 L=2.4km	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) ・市町村間の連携をとり地域振興、観光振興を図るとともに早期完成を目指して進められたい。	対応方針： 継続 理由： 交通不能区間を解消し、地域間の連携強化と観光ルート形成による観光支援を図るため、早期の事業完成が必要であると判断する。
農道	県営広域営農団地農道整備事業	奈良東部地区 (奈良市、天理市)	奈良市仙ノ川町 ～奈良市忍辱山町	平成8年度	9,930	1,479	進捗率 15% 事業延長 L=6,860m	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) ・農道をつくるだけでなくその利活用も含めて、農業振興のためにも早期に事業を進められたい。	対応方針： 継続 理由： 農作物輸送車両の大型化、搬送時間短縮、地域振興への寄与度等考慮したうえで、進捗状況、費用対効果などを総合的に判断した結果による。

○平成18年度 公共事業の再評価結果 一覧表 (2 / 2)

林道	開設	殿野坪内線 (五條市、天川村)	五條市 大塔町殿野 ～天川村坪内	平成8 年度	1,923	1,473	進捗率 77% 事業延長 L=8,186m	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) ・森林資源を保全するためにも行政とNPO等との連携を図り、今後も見直しを含めて進められたい。	対応方針： 継続 理由： 林道の開設により、労働条件の改善、機械化による施業の効率化、森林整備の推進が図れ、世界遺産(大峯奥駈道)登山道へのアクセス道路としても有効であると判断する。
水道	特定広域化施設整備事業 (第3次拡張事業)	—	奈良市 他23市町村	平成13 年度	45,969	23,823	進捗率 52%	「部分的な事業計画の縮小による事業の継続」を妥当とする。 (意見) ・水道水の安定供給をより一層確保するためにも事業を進められたい。	対応方針： 継続 理由： 社会情勢の変化や緊急時に対応できる安定供給体制の確立のため必要と判断する。
河川	総合流域防災事業	一級河川 山田川	生駒市鹿畑古畑 ～高山町	平成元 年度	2,044	1,121	進捗率 55% 事業延長 L=1,100m	事業の「継続」を妥当とする。 (意見) ・防災に関する広範囲なシミュレーションを行い県として横断的な検討を念頭に置いて進められたい。	対応方針： 継続 理由： 治水対策の必要性と、改修の手法、進捗状況、環境に対する配慮、費用対効果などを総合的に判断した結果による。